

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 4 月 10 日

事業名称		スポーツ振興事業費 [市民体育大会（スポーツ大会）]									
予算科目	款	10	教育費	項	5	保険体育費	目	1	保険体育総務費	事業番号	3
事業の種別		<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)									
担当部署・課長名		社会教育 課 生涯学習 係					課長名		高田 匡章		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 5		
【施策名】 スポーツ・レクリエーションの推進								総合計画書(ページ)	43		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民等 →				参加者数						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
各体育大会を通じて、スポーツをすることの大切さや楽しさを感じてもらう。 →				スポーツ・レクリエーションの推進の施策に対する市民の満足度							
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
<ul style="list-style-type: none"> (特非) 東大和市体育協会と大会実施の協定を締結 市報・公式HP等を通じて広報 大会実施場所の確保 大会実施にかかる補助、物品等の用意 →				大会期間中に(特非) 東大和市体育協会と調整を図りながら、事務を進めた。							
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標		
	対象指標	①の数値	人	13,491	17,063	14,830					
	成果指標	②の数値	%	18.2	17.5	20.6					
	目 標	②の目標値	%					21.6			
目標値設定の考え方 市民意識調査において、平成33年(令和3年)の「スポーツ・レクリエーション活動の推進に対する市民の満足度」の目標値を21.6%としている。(第四次基本計画)											
活動指標		③の数値	回	1	1	1					
3 経費	事業費(実績)		円	2,235,163	2,123,349	2,121,810		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	一般財源		円	2,235,163	2,123,349	2,121,810					
	特定財源		円								
	(うち受益者負担)		円								
	所要人数(再任用以外)		人	0.2	0.2	0.2					
	所要人数(再任用)		人								
職員人件費(再任用以外)		円	1,650,600	1,648,800	1,662,000						
職員人件費(再任用)		円									
事業費+人件費		円	3,885,763	3,772,149	3,783,810						
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和44年度								
	(2) 環境の変化		大会の内容(種目)は、年と共に変化している。 参加者も市民のみに限らず、他市のスポーツチームの参加も多く見受けられるようになっている。								

事業名称	スポーツ振興事業費 [市民体育大会（スポーツ大会）]			
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係 課長名 高田 匡章

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	市民体育大会で配布するメダル、賞状については、各団体において余りが多く見られるため、必要数を各団体でしっかり調整する必要がある。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：①、④、⑤、⑥、⑦（市民体育大会、都民体育大会、市町村総合体育大会）		
	<input type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：市報、公式HP）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 特になし				
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） ※「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシートでこの事業名のシートは作成していない。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 （特非）東大和市体育協会との連絡調整や情報共有を密にして、事務の円滑化を図った。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） これまでと同様、（特非）東大和市体育協会との連絡調整や情報共有を密にするとともに、電子メール等のメディアを有効活用して事務の効率化を図りたい。			
8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）				
施策名： スポーツ・レクリエーションの推進				
<input type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			
	【取組内容】 近年の市民体育大会は、主に（特非）東大和市体育協会に所属している各スポーツ連盟により各大会が実施されているが、その各大会のすべてが「広く」市民にスポーツへの取組を促進しているとは言い難いところがあるので、より多くの市民に親しまれる大会となるよう、事業運営を図っていく。			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
ロードレース大会、多摩湖駅伝大会、ふれあい市民運動会、市町村総合体育大会、都民体育大会等、市民が参加しようと思えば参画できるスポーツイベントが他にもあるため、改善の余地があると考え。 特に市独自で行っているイベント等については、市民が気軽に参加でき、かつスポーツ活動のきっかけとなるような企画を検討していく必要がある。				